

学校評価（学校関係者評価）について

肯定的評価 90%以上

- ・お子さんは、他人に思いやりをもって接することができている
- ・お子さんは、交通事故や怪我のないように自らの安全に気を付けて生活している
- ・学校は、学校生活の決まりやマナーを守るよう指導している。
- ・学校は、モラルや人への思いやりを大切にする指導をしている。
- ・学校は、学校だよりや学年・学級だより、HPなどで学校の様子を保護者に伝えようと努めている。＜+6.9＞

肯定的評価 80～90%

- ・お子さんは、学校生活を楽しく過ごしている。
- ・お子さんは、自分がやるべきことを最後までやり遂げようとしている。
- ・学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。
- ・学校は、生徒の学習の理解が深まるように工夫して取り組んでいる。
- ・学校は、将来を見据えた進路や自分の生き方について指導、助言をしている。
- ・学校は、生徒や保護者の相談に親身になって対応している。＜+12.2＞
- ・学校は、いじめの未然防止に努めている。
- ・学校は、清掃が行き届いており、施設設備など安全面での環境が整っている。＜▲5.6＞
- ・学校は、保護者の願いや期待を聞いて応えようと努めている。＜+6.9＞

肯定的評価 80%以下

- ・お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。
- ・お子さんは、気持ちのよい挨拶や言葉遣いをしている。

肯定的評価 70%以下

- ・お子さんは、分からないことを自分で調べるなど、進んで学習に取り組んでいる。
- ・お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。
- ・お子さんは、進んで運動するなど体力の向上に努めている。
- ・お子さんは、睡眠や食生活など規則正しい生活習慣が身に付いている。

全体的には昨年度よりも高評価のものが増えており、特に学校からの情報提供や学校の対応について評価していただいた保護者の割合が増加している。今後も保護者や地域の方々への情報提供や丁寧な対応を心がけ、保護者、地域に信頼される学校づくりに努めていく。課題としては、家庭での学習習慣を含めた学びに向かう姿勢、体力の向上、正しい生活習慣の獲得が挙げられる。学校生活はもちろんのこと、学校外での過ごし方の意識についても、保護者との連携を深めながら、身に付けさせていく必要がある。

学校評価（教職員自己評価）について

肯定的評価 80%以下

- ・奉仕活動等、ボランティア活動が活発に行われている。
- ・生徒は、進んで学習に取り組んでいる。
- ・生徒は、自分の考えや意見を積極的に発表している。
- ・生徒は、進んで運動するなど体力の向上に努めている。

肯定的評価 70%以下

- ・研究を組織的に推進し、主題に迫る実践が行われている。
- ・授業において生徒用タブレット端末を活用している。
- ・学校は、ICT機器の活用を可能にするための環境が整っている。
- ・生徒の家庭学習の習慣化を図る手立てを講じている。
- ・生徒は、家庭学習の習慣が身に付いている。

生徒についての質問項目では、保護者評価と同様に「進んで学習に取り組む」「体力の向上につとめている」「家庭学習の習慣が身に付いている」という項目の評価が低くなっている。この点を改善していくための具体的な手立てを講じていく必要がある。

家庭学習の習慣化に向けて、課題の出し方を工夫したり、タブレット端末を使用して「eライブラリ」（AIドリル）を活用したりするなど、他校の好事例を収集して実践につなげながら生徒たちの意識を変えることを目指す必要がある。

体力の向上については、運動だけではなく、基本的な生活習慣や食育などともリンクさせながら、健康的な生活を送るための行動の意識付けを学校生活の指導の中に取り込んでいく必要がある。

ICT機器の活用については、日々の授業での活用を継続して推進し、情報教育担当を中心として、ICT機器活用のメリットや具体的な活用方法を共有する機会を設けていく。また、来年度から正式に導入される学習活動端末支援 Web システム「SKYMENU」の活用方法についての研修を行い、授業におけるタブレット端末の活用率向上につなげていく。